

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水道浄化センター	水質担当	内線等	8009
----	-------	-----------	------	-----	------

事業コード		事務事業名	下水道再生水（中水道）利用事業
根拠法令等	下水道法		A法令

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	下水道浄化センター周辺公共施設
手段	水洗用水及び修景用水としての再生水送水施設を整備して
想定する成果	下水道資源である再生水の有効利用

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
(1) 再生水内部利用量	56,235	33,326	44,000
(2) 再生水外部利用量	40,834	36,169	36,000
(3) 再生水有効利用量	97,039	69,495	80,000
(4) 再生水処理能力	127,750	127,750	127,750

目標値

成果指標名	再生水の有効利用率
成果指標の説明	再生水有効利用量 / 再生水処理能力 × 100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	62.3%
	実績	76.0%	54.4%	-
事業費	事業費	5,047,260	5,494,422	5,500,000
	人件費	857,200	835,800	1,274,550
	(人数)	0.1	0.1	0.15
	合計	5,904,460	6,330,222	6,774,550
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	4,900,080	4,340,280	4,320,000
	一般財源	1,004,380	1,989,942	2,454,550

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	ほぼ全体計画施設は、完成したが利用が進まない。
効率性	6	6	再生水の維持管理費が高く、使用料金を上水道と比べたとき割高感がある。
公共性	10	10	市が実施すべき事業である。
緊急度	10	10	東三河における水不足による恒常的な節水に対する対策となった。
小計	32	32	
市民参加度	3	3	一般企業にアンケート調査を実施したが、利用がない。
合計	35	35	
総合評価	B	B	再生水の使用料金が割高であり、公共施設等への利用は進んでいるが、一般企業への利用が進んでいない。下水道資源である再生水の有効利用と下水道の役割・重要性への理解が図られることが望まれる。

これまでに実施した改善点

達成度	利用施設及び利用方法を拡大した。
効率性	二次処理水の水質を向上し、再生水の水質を安定させた。
公共性	
緊急度	
市民参加度	浜町地内の企業に「下水処理水・中水道利用に係る意向調査」を実施した。

今後の改善すべき点

達成度	一般企業へのPRを実施し、利用の拡大を図る。
効率性	上水道に比べて使用料金が割高で利用が進まない、利用しやすい金額にして利用の拡大を図る。
公共性	
緊急度	
市民参加度	下水道の役割・重要性への理解を図り、一般企業への利用を進める。